

チタンシステムボトル350

取扱説明書

Ver 1.00

FES-181

このたびはスノーピーク製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この商品は飲み物を保温保冷するために開発された真空断熱ボトルです。安全にご使用いただくためにも必ずこの取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。製品には万全を期しておりますが、使用する前に安全な場所で組立、取扱い方法及び付属品の確認をしてください。説明内容で理解できない点や製品に不具合が確認された際には、直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

各部の名称

※パッケージを開封したら各部品が全て揃っているか確認してください。

クーラーキャップ ユニット ×1

キャップ本体(カバーは白色)



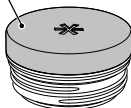
パッキンA(ミゾがある形状)



冷えた飲料缶を未開栓のまま保冷して携行できます。

保温キャップ ユニット ×1

キャップ本体(カバーは黒色)



パッキンA(ミゾがある形状)



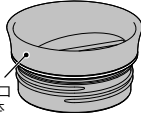
温かい飲み物や冷たい飲み物を直に注いで携行できます。

タンブラーキャップ ユニット ×1

スライドフタ



飲み口
本体

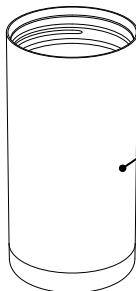


パッキンB(平たい形状)



飲み物をボトルから直飲みするときに使用。(携行はできません)

※パッキンは消耗品です。



ボトル本体 ×1

表示マークの意味

●製品を正しくお使いいただくために、誤った使い方や表示を無視した使い方をした時に生じる損害の危険や損害の程度を以下のように分類しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示しています。



警告

場合により重大な事故に至る行為を示しています。



注意

ケガや本体の破損、他の財産に損害を与える原因となる行為を示しています。



危険

- 乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
また、いたずらには十分注意してください。(やけどやケガの原因となります)
- ボトル本体やキャップを直接火にかけたり湯せんするなど加熱しないでください。爆発や溶解の恐れがあります。(やけどやケガの原因となります)



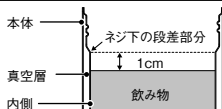
警告

- 本製品を飲み物の保温、保冷以外に使用しないでください。ストーブや直火などで高温になる場所へは近づけないでください。(やけどや変形、変色の原因になります)
- 熱い飲み物を入れて使用する場合は本体を傾けながらキャップを開けたり、顔を近づけてキャップを開閉しないでください。(飲み物が吹き出たり飛び散ってやけどやケガの原因になります)
- 熱い飲み物を注ぎ、タンブラーキャップを閉めた直後は、ボトルを移動させる、勢いよく傾けるなどの衝撃を与えないでください。商品の構造上、衝撃により飲み物が勢いよく飛び出し、火傷やけがなどの重大な事故に至る恐れがあります。熱い飲み物を運ぶ場合は、必ず保温キャップをご使用ください。



⚠ 警 告

- 飲み物は右図の位置までにしてください。
(入れすぎるとキャップを開める時に飲み物があふれてやけどをしたり、周囲をよごす原因となります)



- 40度以上の熱い飲み物を入れて保温キャップユニットをすぐに閉めると、飲み物から発生した蒸気により内圧が上がり、開栓しにくくなることがあります。(無理に開栓すると熱い蒸気や飲み物が噴出したり、キャップが飛んでやけどやケガの原因になります)
- キャップユニットのパッキンは正しく取り付けたことを確認し(P9図参照)キャップを確実に閉めてください。(パッキンの取付けが不完全だと飲み物が溢れてやけどをしたり、周囲をよごす原因となります)

- 以下のものは絶対に入れないでください。

- ・ドライアイス、開栓した炭酸飲料(内圧が上がり、キャップが開かなくなったり、飲みものが吹き出る、キャップが破損して飛散することがありケガや周囲をよごす原因となります)
- ・牛乳、乳飲料、果汁など腐敗しやすい飲みもの(長く放置した場合、腐敗ガス発生により内圧が上がり、キャップが開かなくなったり、飲みものが吹き出る、キャップが破損して飛散することがありケガや周囲をよごす原因となります)
- ・お茶の葉、果肉(キャップと本体の間につまって飲み物が漏れてやけどや周囲をよごす原因となります)



- 飲み物を入れた状態で長く放置しないでください(飲みものが変質、腐敗するとガスが発生し、内圧が上がり、キャップが開かなくなったり、飲みものが吹き出る、キャップが破損して飛散することがありケガや周囲をよごす原因となります)

- ボトル本体、キャップユニットは煮沸したり、食器洗浄機、食器乾燥機を使用しないでください。(熱によりボトル本体やキャップが変形し飲み物が漏れてやけどや周囲をよごす原因となります)



- 落としたりぶついたり強い衝撃を与えないでください。(変形により保冷、保温効果が低下したり、飲み物が漏れてやけどや周囲をよごす原因となります)



- 改造、分解は絶対にしないでください。(ケガややけどの原因となる他、故障の原因となります)



⚠ 注意

- 異形缶や変形した缶はボトル本体に入らない場合があります。飲料缶を収納する際はあらかじめ缶が入るか確認し、入りにくい場合は無理に押し込まないでください。(飲料缶が取り出せなくなる原因になります)
- クーラーキャップユニットに封入された保冷剤の成分は人体に影響はありませんが、破損により万一手肌や衣服に付着した場合は流水でよく洗い流してください。
- キャップユニットはパッキンを正しく取付け確実に閉めてください。(漏れて周囲を汚す原因になります)
- 持ち歩く前に本体を逆さまにして漏れないことを確認してください。(漏れのある場合は、P9「パッキンの取り付け方」を参照してください)

- みそ汁やスープ等塩分を多く含む飲み物を入れないでください。



- 大きな水は無理に押し込まず、小さくしてから入れてください。
- ボトルに水を入れた状態で強く振ったり、衝撃を与えるとボトル本体内部が傷付いたり変形する恐れがあります。
- 熱いお茶を保温した場合、お茶に含まれる成分により色や風味が変わることがあります。人体に影響はありませんが保温したお茶はお早めにお飲みください。

- 塩素系の漂白剤は使用しないでください。



- 長さが短い飲料缶や直径が小さい飲料容器をボトル本体に入れないでください。携行の際飲料缶がボトル本体を破損させる恐れがあります。
- ご使用後はボトル本体内側を柄の付いたスポンジ等で十分に洗ってください。
- 製品の構造上、湿度が高い時やその他の条件により水滴が付くことがありますのでご注意ください。
- 長期間使用しない時は、パッキン保護のため、キャップはゆるめて保管してください。

- ボトル本体外側は浸け置き洗いや丸洗いをしないでください。ボトル本体外側の側面と底部との間に水が侵入し、汚れの原因になります。

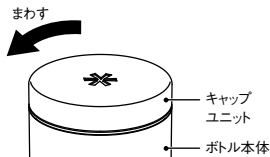


- 飲料缶をボトル本体に収納する時はボトル本体を斜けてゆっくりと飲料缶を挿入してください。垂直に缶を落とし込んだり、勢いをつけてセットするとボトル本体が変形して保温力を損なう原因になります。

ご使用前の準備

パッケージから本体を取り出したらキャップユニットを反時計方向に回してはずします。

本体の口の周囲を強く握るとキャップがはずれにくい場合があります。ボトルの底面とキャップを握って開栓してください。

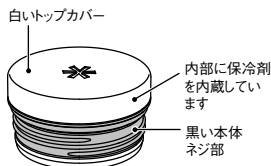


クーラーキャップの使い方

①キャップを凍らせる

クーラーキャップは飲料缶を保冷しながら携行するための専用キャップです。使用前にご家庭の冷凍庫にキャップを12時間以上入れ、内部の保冷剤を十分に凍結させます。

冷蔵庫の製氷室や -18°C 以下にならない冷凍庫では保冷剤が凍結せずに保冷性能を十分に発揮できません。庫内温度を確認してご使用ください。

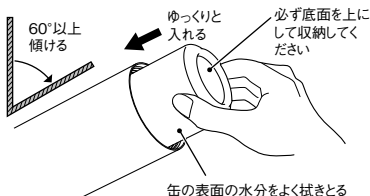
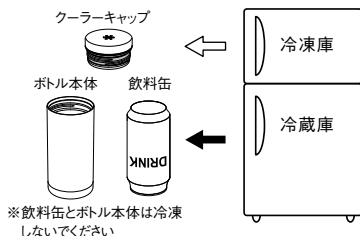


②飲料缶をセットする

冷蔵庫で冷やした飲料缶を取り出し、缶の飲み口を下にして(底面を上にして)斜めに傾けたボトル本体にゆっくりと入れます。

ボトル本体は飲み物と一緒に冷蔵庫で予冷しておくと保冷力が高まります。

飲料缶をボトル本体にセットする時は缶の底面を上にしてセットしてください。飲み口を上向きにセットするとキャップが閉まりません。



ご使用方法

クーラーキャップの使い方

③キャップを閉める

飲料缶をボトル本体にセットしたらキャップを時計方向に回して確実に閉めます。

キャップにがたつきやすき間がないか確認してください。

④飲料缶を取り出す

キャップを反時計方向に回しボトル本体から取り外します。

キャップを外す時はボトル本体の底部をつかんでキャップを回してください。ボトルの口付近を強く握るとキャップが開きにくくなります。

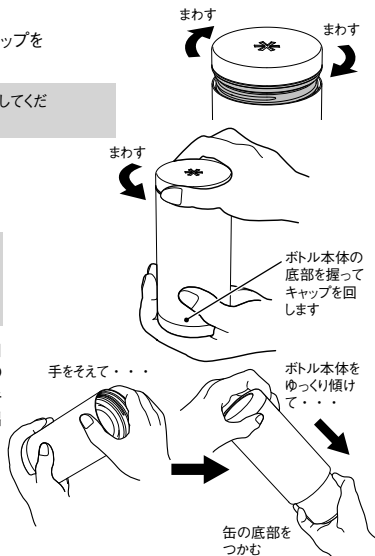
キャップを取り外したらボトル本体の口に手をそえて、ゆっくりとボトル本体の口を下に傾け、ボトル本体の底部を手のひらでつかむように飲料缶を取り出します。

⑤飲み終わった後は

飲料缶の飲み物を飲み終わったらボトルの中の水気をよく拭き取ってキャップを閉めます。

飲み切らなかった飲み物は絶対にボトルに入れて携行しないでください。

飲みかけの飲料が入った缶をボトルにもどして携行しないでください。

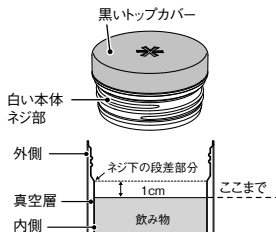


保温キャップの使い方

保温キャップは暖かい飲み物や冷めたい飲み物を液体のままボトルに注いで携行するための専用キャップです。

①飲み物を入れる

飲み物をボトルに注ぐ時は図の位置までにしてください。図の位置を越える量の飲み物を入れるとキャップを閉める時に溢れる原因となります。



予め容器を予冷、予熱しておくで保冷、保温効果が高まります。

ボトルを予冷するときは冷蔵庫に30分程度入れて予冷してください。

ボトル本体を予熱するときは図の位置まで熱湯を注ぎ30秒程度温めたら湯を捨てて飲み物を注ぎます。

②キャップユニットを乗せる

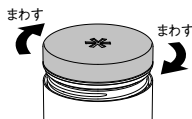
40度以上の熱い飲み物を入れる時は飲み物を入れたボトル本体の口にキャップユニットを乗せ、1分以上予熱してください。

40度以上の熱い飲み物を入れてすぐにキャップユニットを閉めると熱い蒸気や飲み物が噴出したり、キャップを閉めた直後に開栓しにくくなることがあります。

③キャップユニットを閉める

本体を垂直に立てた状態でキャップユニットを時計方向に回して確実に閉めます。

キャップユニットが確実に閉まっていない状態で本体を傾けたり揺らしたりすると飲み物が溢れる原因になります。



④キャップユニットを開く

キャップユニットを開く時は本体を垂直に立てた状態で本体の上下を握りながらキャップユニットを反時計方向に回しボトル本体から取り外します。

キャップユニットを取り外す時は本体を傾けたり揺らしたりしないでください。飲み物が溢れる原因になります。

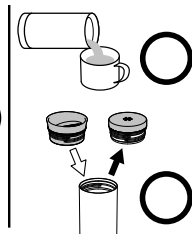


⑤飲み物を飲む

飲み物を飲む時はボトル本体から直飲みせずにかップに注いで飲むかタンブラーキャップを取り付けてお飲みください。

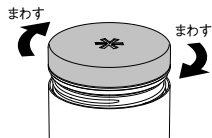
本製品はボトルの口径が大きいので、直飲みすると一度に大量の飲み物が出てやけどや飲み物をこぼす原因になります。

キャップを外す時は熱い蒸気が出ますのでご注意ください。



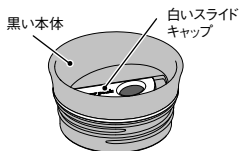
⑤ 飲み終わったら

飲み物を飲み(注ぎ)終わったらボトル本体を垂直に立てた状態でキャップユニットを時計方向に回して確実に閉めます。



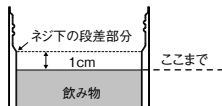
タンブラーキャップの使い方

タンブラーキャップはボトル本体に取り付けて直接飲み物を飲むための専用キャップです。スライドキャップを装備していますが、密閉構造ではありませんので携行は出来ません。



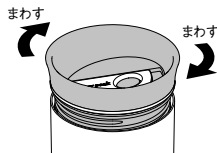
① 飲み物を入れる

飲み物をボトルに注ぐ時は図の位置までにしてください。図の位置を越える量の飲み物を入れるとキャップを閉める時に溢れる原因となります。



② キャップユニットを閉める

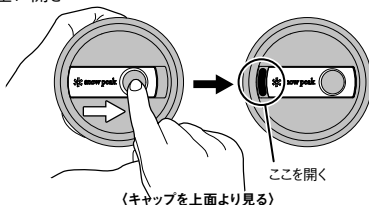
本体を垂直に立てた状態でキャップユニットを時計方向に回し、確実に閉めます。



③ 飲み物を飲む

飲み物を飲む時はボトル本体を垂直に立て、一方の手でボトル本体を確実に押さえます。他方の手でスライドキャップの丸穴部に指をかけて図の方向にスライドさせて飲み物の出口を完全に開きます。

ボトル本体を傾けた状態からスライドキャップを開かないでください。飲み物が溢れる原因になります。また、片手での操作はボトル本体を転倒させる恐れがありますので必ず両手で開閉操作してください。

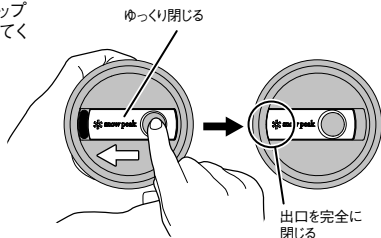


④ 飲み終わったら

飲み物を飲み終わったらスライドキャップを閉じて飲み物の出口を完全に閉じてください。

スライドキャップを閉じてても本体は密閉状態にはなりません。飲み物を携帯する時には必ず保温キャップを使用してください。

スライドキャップは勢いをつけて閉じないでください。飲み物が飛び散る恐れがあります。

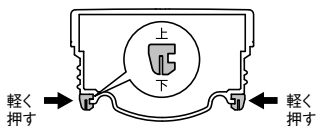


〈キャップを上面より見る〉

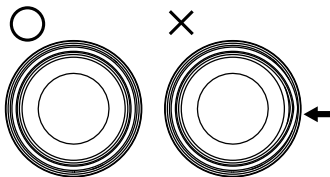
パッキンの取り付け方

ご使用前には必ず確認してください

●クーラーキャップ、保温キャップ共通 (パッキン A)



溝がある方が下側です



〈下から見た図〉

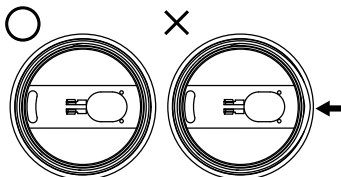
歪みのない同心円になるように取り付けます。

歪みがあると飲み物が漏れる原因になります。

●タンブラーキャップ専用 (パッキン B)



パッキン B に裏表はありません



〈上から見た図〉

歪みのない同心円になるように取り付けます。

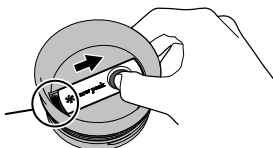
歪みがあると飲み物がボトル本体との隙間から漏れる原因になります。

タンブラーキャップのスライドフタの外し方

①スライドフタを開く

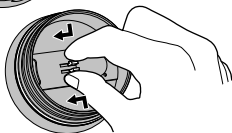
スライドフタの飲み口を開く方向にスライ
ドさせます。

飲み口を
開きます



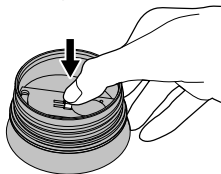
②スライドフタのツメを外す

キャップユニットを裏返し、中央にある2
本のツメを指で強くつまみながら押し込
みます。



③ツメの先端を押し込む

ツメが少し押し込めたら親指でツメを上
から押し込みスライドフタを外します。



お手入れの方法

いつまでも清潔にお使いいただくために使用後は必ずお手入れください

- ・お手入れにはぬるま湯で薄めた食器用中性洗剤を使用してください。
- ・ボトル内側の汚れが落ちにくい時は市販のボット洗浄剤や酸素系漂白剤を使用してください。
(酸素系漂白剤を使う時はキャップをボトル本体に取付けしないでください)
- ・保管の際はきれいに汚れを落とし、十分に乾燥させてから風通しの良い涼しい場所にキャップ
を外して保管してください。

洗方	ボトル本体		キャップユニット
	内側	外側	
流水洗い	○	×	○
つけ置き洗い	○	×	○
酸素系漂白剤	○ キャップは 閉めないこと	×	○ 必ず本体から取り外した状態で洗浄してください
塩素系漂白剤	×	×	×
洗浄時の お手入れ法	やわらかいスポンジで 洗い流水でよくすす いだ後につけ洗いま るか、十分に乾燥さ せます。	薄めた食器用洗剤を やわらかい布に含ま せてよく絞り、汚れを 拭き取ります。	パッキンを外してキャップ本体とパッキンをやわらかいス ポンジでいいねいに洗い、十分に乾燥させてからパッキ ンをP9の正しい位置に取り付けます。汚れがひどい時 はつけ洗います。

トラブル	原因	対処方法
飲み物が漏れる	キャップユニットが確実に閉まっていない	キャップユニットはボトル本体を垂直に立てた状態で時計方向に確実に閉めてください。
	飲み物の入れすぎ	飲み物は決まった量までにしてください。(P6、7、8参照)
	パッキンが正しく取り付けられていない	各キャップユニットに合ったパッキンを正しく取り付けてください。(P9参照)
	パッキン破損、消耗	弊社ユーザーサービス係にパッキンを注文してください。(P12参照)
キャップを閉じた直後にキャップが開かない [保温キャップの場合]	飲み物から発生した蒸気により内圧が上がる	数時間待って飲み物の温度が下がってから開栓してください。(※40度以上の熱い飲み物をボトルに入れる時はボトル本体の口にキャップを乗せ1分以上予熱してからキャップユニットを閉めてください)
保温(保冷)力が低い [保温キャップの場合]	飲み物の量が極端に少ない	飲み物の量を増やしてご使用ください。 ※飲み物は決まった量までにしてください。
	飲み物の温度が十分に熱く(冷たく)ない	十分に熱した(冷した)飲み物を入れてください。ボトル本体内側を予熱(予冷)しておくことで効果的です。
缶飲料の保冷力が低い [クーラーキャップの場合]	缶飲料が十分に冷えていない	冷蔵庫内の温度が4℃程度であることを確認し、12時間以上冷蔵した飲料缶を入れてください。
	クーラーキャップの保冷剤が十分に凍結していない	冷凍庫内の温度が-18℃程度であることを確認し、12時間以上冷凍したクーラーキャップを使用してください。
ボトル本体内側が変色した	ボトル内側の洗浄が不十分	柄の付いたスポンジで内部を洗い、酸素系漂白剤をボトルに注ぎつけ洗いしてください。
	飲料缶とボトル内側に水分が付着していた(白っぽい汚れ)	柄の付いたスポンジで内部を洗い、10倍に薄めた食酢をボトルに注ぎ、1時間程つけ洗いをし、よくすすいでください。
異臭がする(カビ臭い)	ボトル内側キャップの洗浄が不十分	ボトル内側を十分洗浄した上で、キャップのパッキン(タンブラーキャップの場合はスライドフタも)を外し、柔らかいスポンジで洗浄した後に酸素系漂白剤でつけ洗いしてください。
緑茶が赤茶色に変色した	長時間保存による成分の変質	緑茶は短時間の保存でも変質することがあります。飲用にあって害はありませんが、早めに飲みきることをお勧めいたします。

品質保証について

お買い求めいただきました製品には万全を期していますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご相談ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適切な価格で修理させていただきます。修理交換の判断は、弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は保証・修理出来ない場合もありますので、予めご了承ください。

1. 素材の経年劣化による損害など製品の寿命
2. 改造及び粗雑な扱いによる故障
3. 取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障
4. 不慮の事故による製品の故障
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障
6. ゴミやさびによる故障
7. 分解したことによる故障
8. 落下やその他衝撃による部品の变形や破損による不具合
9. 摩耗によるパーツの変化およびそれによる故障
10. 他社製品との組み合わせによる故障

スペック

●セット内容:

ボトル本体×1、クーラーキャップユニット×1、保温キャップユニット×1、タンブラーキャップユニット×1、取扱説明書(本書)×1

●材質:

- ボトル本体/チタニウム
- キャップユニット/ポリプロピレン
- パッキン/シリコンゴム
- 断熱材/発泡スチロール
- 保冷剤/水、吸水性ポリマー、安定剤、防腐剤、PEフィルム

●サイズ

- ・クーラーキャップ、保温キャップ取付け時
φ77×174(h)mm
- ・タンブラーキャップ取付け時
φ81×177(h)mm

●保温効力

- ・保温力:95℃→55℃[6時間]
※保温力は外気温25℃、熱湯にて予熱したボトルに保温キャップを取り付け6時間放置。
- ・保冷力:4℃→7.5℃[6時間]
※保冷力は外気温20℃、冷蔵庫にて予冷したボトルと飲料缶をセットし、冷凍したクーラーキャップを取り付けて試験を実施。

●原産国:日本製

●容量

・390ml

●重量

- ・ボトル本体 165g
- ・クーラーキャップ 90g
- ・保温キャップ 41g
- ・タンブラーキャップ 38g

修理が必要な時は

不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

スノーピークユーザーサービス

 **0120-010-660** (9:00~17:00)

Email: userservice@snowpeak.co.jp

責任元

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456

Tel.0256-46-5858 Fax.0256-46-5860

www.snowpeak.co.jp

MADE IN JAPAN